

(別添7)

事業所名 グループホームほのぼの

## 2 目標達成計画

作成日: 令和3年 6月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関に施錠している。帰宅願望が強く、徘徊を繰り返す利用者様があり、施設から出てしまうことが心配で施錠廃止に踏み切れない	施錠しない時間を増やしていき、いずれは施錠を廃止する。	・玄関前にセンサーマットを設置し、利用者様が施設から出る前に声掛け等対応が出来るようにする。 ・玄関に鍵がかかっていないことで、さらに緊張感を持って見守りを行うようにする。 ・玄関から出ようとされる利用者様をそのまま散歩に誘う等することにより、利用者様の気持ちが落ち着き、帰宅願望を少しでも緩和させる。	12ヶ月
2	33	現在、看取り期の利用者様が居ないこともあり、職員への研修や、職員間で看取りについて話し合うことも出来ていない	実際、看取りを行うことになってからでは遅いので、早いうちに社内研修を行う。各職員に看取りについての知識を定着させる。	・施設看護師を講師として看取りについての研修を行う。 ・インターネットや動画を利用し、ミニ研修会を定期的に行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。